

事業戦略スクール「知足」

目標設計

Goal Design

CONTENTS

SECTION

01 目標設計の基本フレームワーク

SECTION

02 目標の階層化設計

SECTION

03 進捗管理と修正の仕組み

SECTION

04 目標達成のための仕組み化

SECTION

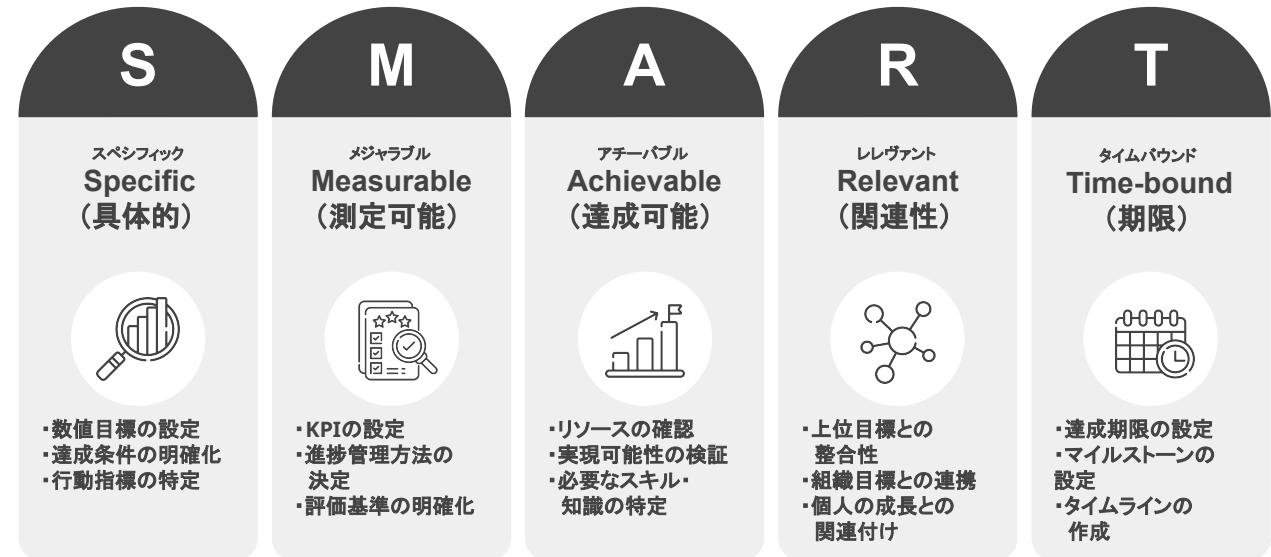
05 まとめ

SECTION

06 課題

目標設計の 基本フレーム ワーク

目標を効果的に達成するためには、具体的で実現可能な目標を設計することが重要です。そこで役立つのが「SMARTフレームワーク」です。

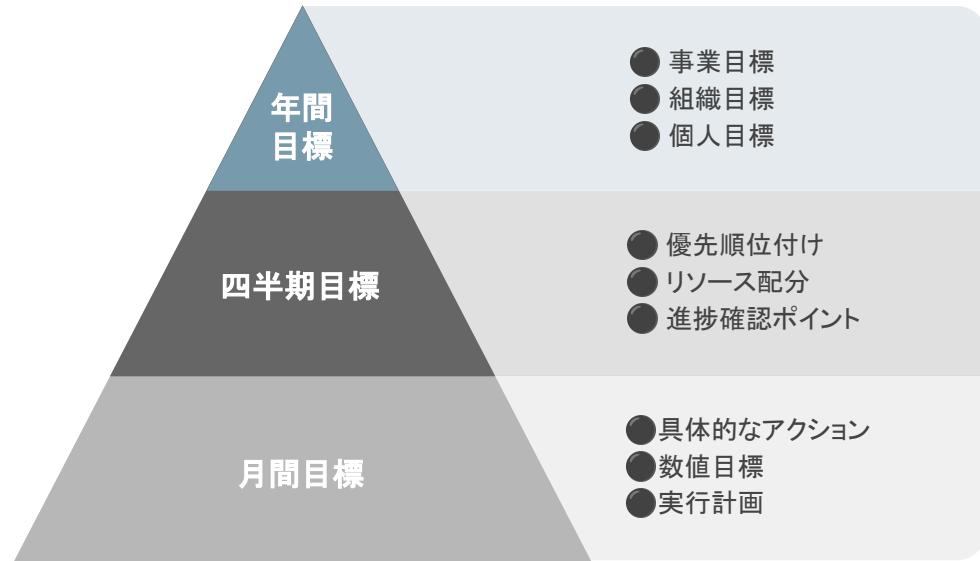


目標を明確な行動指針に変えることで、達成可能性が大幅に向上します。 SMART フレームワークは、進捗を測定し計画的に行動するための効果的な手法です。

SECTION
02

目標の 階層化設計

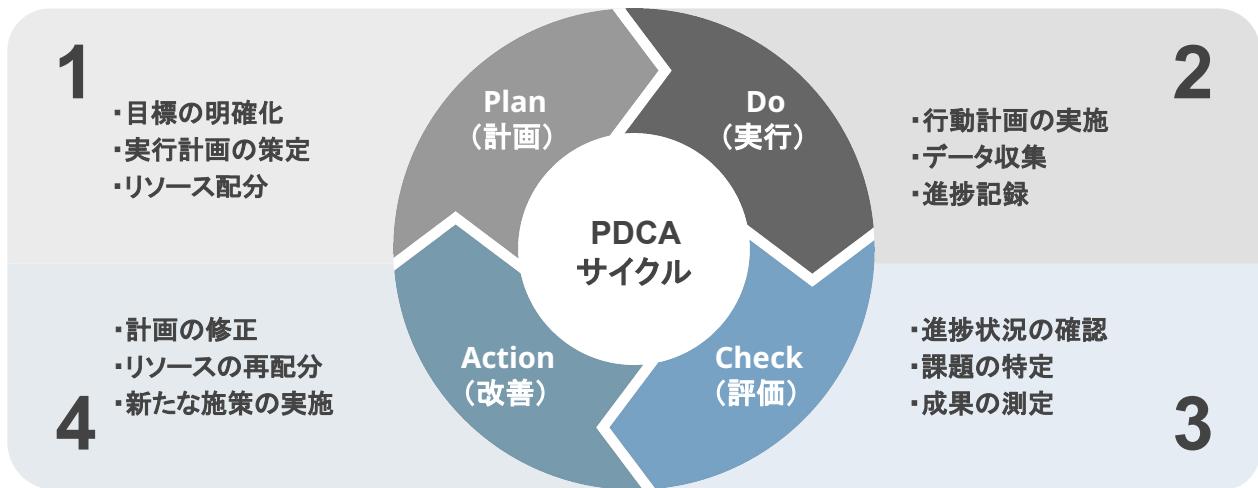
目標を達成するためには、漠然とした大目標を具体的な小目標に分解し、行動に落とし込むことが重要です。



この設計順序を守ることで、長期的なビジョンから具体的な行動まで一貫性を持たせることができ、目標達成の成功確率を大幅に高められます。

進捗管理と 修正の仕組み

PDCAサイクルとは、「計画(Plan)→実行(Do)→評価(Check)→改善(Action)」を繰り返すことで、プロジェクトや業務を継続的に改善する仕組みです。



継続的な改善と軌道修正が必要であり、状況に応じて柔軟に計画を見直し、成功に向けた仕組みを整えることが重要です。

目標達成のための 仕組み化

SECTION

04

持続可能な実行体制の構築が重要です。

目標達成を一時的なものにせず、継続的に目標を達成するには、その実行体制を仕組み化することが必要です。

モニタリングシステム

- 定期的なレビュー
- データダッシュボード
- アラート設定

目標達成に向けた進捗状況やパフォーマンスを常に監視し、実行状況を把握するための仕組みです。
これにより、計画がどれだけ順調に進んでいるかをリアルタイムで確認できます。

フィードバックループ

- 定期的な振り返り
- 改善点の特定
- 成功事例の共有

プロセスや行動の結果について関係者から意見や反応を受け取り、その情報を基に改善を行う仕組みです。
これにより、継続的にパフォーマンスを向上させることができます。

まとめ

効果的な目標設計の 4つのポイント

1. SMARTフレームワークの活用
2. 目標の階層化設計
3. PDCAサイクルの確立
4. 仕組み化による継続的な実行

06

課題

1. 初回に設定し Discordに書いた目標を見返してみましょう！
2. 上記の通りに設定できていますか？
3. もう一度、今学んだことを振り返ってこの1年の目標を設定してみましょう！